

「震災復興に文化芸術を！」プロジェクト

2012年度 事業報告書



公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会

2013年3月31日

当協議会では、東日本大震災直後から、文化芸術を通じた復興支援ができないかと関係者に呼びかけ、主として岩手、宮城、福島の3県で祭りなどによる復興事業に協力し、仮設住宅に暮らす方々や子どもたちに寄り添えるようにと、地域の方々と連携しながら支援活動を行ってきました。

震災の影響は広範囲にわたり、地域によって人によって復興の道筋も異なります。また時間の経過とともに状況は変化しており、多様な対応が求められていますが、共通して言えることは、息の長い支援が必要とされているということです。当協議会では地元の方々の声を聴き、地元で必要とされている支援活動を行うため、被災地の方々との継続的な関係づくりを重視することを方針としました。そして2012年度は、5つの自治体等と文化協定を結んで、文化芸術を通じた復興のまちづくりに貢献できるよう、協働関係の構築を進めて参りました。

震災から2年余が経過しましたが、かけがえのないものをなくされた方々のお気持ちは、時間が経ったからといって容易に慰められるものではなく、避難先や仮設住宅で余儀なく不自由な暮らしをされている方々はまだまだ大勢いらっしゃいます。文化芸術は、衣食住などの必需品を提供することはできませんが、笑顔と明日への希望を取り戻すきっかけは提供できるのではないかと信じています。

ここに、2012年度の当協議会の震災復興プロジェクトの活動報告をお届けします。引き続き、皆さまのご理解とご支援を賜ることができましたならば、幸甚に存じます。

宮古市、釜石市、松島町、女川町、小名浜まちづくり市民会議(いわき市)と 「文化芸術による震災復興に関する協定」を結びました

2011 年度の活動をもとに、5つの自治体等との間に文化協定を締結し、地元との対話を行いニーズを確かめながら協働関係を構築し、文化事業を実施いたしました。

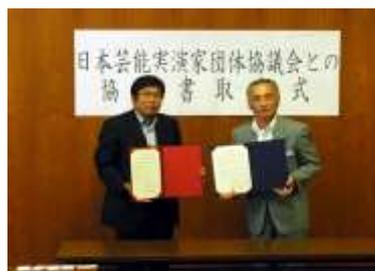
「芸団協からの支援の申し出は大変有難い。町民が文化芸術に親しむ機会を増やし、芸団協と町が協力して、町全体が元気になるように取り組んでいきたい」（松島町 大橋健男町長 2012年7月24日）

「子どもたちの心の復興をどうしていくか、大事な課題だと思っておりますが、そういうところに芸団協さんのご支援は、非常に心強い」（女川町 村上善司教育長 2012年7月24日）

「芸団協さんは震災後、いち早く釜石市を訪れ、祭りの開催に協力していただき、市内の仮設住宅等に芸能を届けてくださった。市民が文化芸術に触れられる機会の提供を今後も継続して下さることに感謝申し上げます」。（釜石市 野田武則市長 2013年2月4日）



文化芸術による復興推進に関する協定書



協定締結式の様子(上:女川町 下:釜石市)

文化協定を結んでいない被災地においても、自治体や地元の NPO などと連携しながら、芸能に触れていただく機会を提供しました。

岩手県：一関市・長泉寺のお祭り、葛巻町、一戸町での寄席の開催

宮城県：気仙沼市の仮設住宅めぐり、仙台市での寄席開催に協力

福島県：南相馬市の復興秋祭りに協力

2012 年度、当プロジェクトでは、11 の自治体において 16 事業を実施しました。

また、芸団協正会員団体が実施、参加する 8 つの復興支援事業に協力しました。

久しぶりに、おなかの底から笑いました 子どもたちが、夢中になって見入っていました

「もう私たちも、笑っていいんですね・・・」これは、震災から1年半くらいたったころ、仮設住宅で暮らす方々が、マジックや落語を楽しんだあとに漏らした感想です。落語などの演芸に大笑いしたり、音楽を聞いて涙したり、そうやって大勢で一緒に心を動かすことで、明日への気力も湧いてきます。子どもたちと一緒に笑い合えば、元気も倍増します。芸団協は、地域の方々が共に集まることができるよう、東北3県の各地で仮設住宅の集会所や、地元のお祭り、イベントなどにおいて、芸能を楽しんでいただく機会を提供しました。



左上、左中：小名浜(いわき市)の親子連れが集まるいわき・らら・ミュウにて。 左下：釜石市の仮設住宅集会所にて
中央上：仙台市の児童館にて落語体験。右上：「まつしま芸能ひろば」でのステージ
中央：宮古市ふれあい館にて日本の手品を披露 右中：南相馬市の復興秋祭りに協力 右下：「みやこ寄席」

ひとりひとりが主役！ 市民参加イベントを通して まちの連帯感と元気を確かめました

女川町では、久方ぶりに町民が参加する音楽イベントの開催に協力しました。地区対抗の紅白うた合戦では、応援団が趣向を凝らし、世代を超えて町民パワーが結束しました。仙台から駆けつけたさとう宗幸さんらプロの歌手もエールを送り、最後には会場全体が心を合わせての大会唱となりました。宮古市では、文化活動の拠点だった文化会館が被災して使えなくなり、楽器も流され一度は音楽活動をあきらめていた市民バンドが再起を図りました。芸術文化協会の歌と踊りの発表の会に、田辺靖雄さんと九重佑三子さんがゲストで加わり、みんなの元気を讃え、笑顔溢れる会となりました。



左上、左中、左下：「復興みやこ・歌と踊りのひととき」（宮古市芸術文化協会主催 2013/3/23）
右上、右中、右下：「取り戻せ女川の笑顔！おらだづのうた自慢・のど自慢大会」
（女川町、女川町教育委員会主催 2012/11/25）

実演家だから思うこと、実演家だからできること

本プロジェクトには大勢の実演家が参加しています。とりわけ東北在住の実演家には、何度も



こういう時に夢と希望を与えるのが、エンタテインメントをやっている我々の使命だと思います。被災された方々には、芸能ではどうしようもない不自由なことがたくさんありますが、だからこそ、笑顔が生まれるようにしたい。笑いと感動があれば、希望につながります。被災地の学校などでは、マジックショーを見せるだけではなく、会場の方々とのコミュニケーションが大事だと思っていますし、ちゃんとメッセージがはいったパフォーマンスにするよう心がけています。子どもたちからは、僕らのことは魔法使いのように見えるのかもしれない。被害が大きかった地域では、奇跡の力を信じてという言い方しかできませんが、僕は、子どもたちには、「まわりの人たちへの感謝の気持ちを忘れないで」と伝えるようにしています。感謝の気持ちが、人と人をつないでいくのだと思いますから。

ドルフィン（マジック）



もっとおもしろいクラウンになりたい——もともと、そう思って仕事してきましたが、震災後、その思いが強くなりました。震災があって、何もできない自分がいて、どうしていいかわからないと思いましたが、おもしろいクラウンとして、1人でも笑顔の人を増やせれば。それが僕の仕事なんだと思います。1人より2人、10人より100人。もっともっとおもしろいクラウンになって、多くの人に笑ってもらいたいと心底願っています。被災した方の中には、仮設住宅から出たくないという人もいるようで、僕が直接触れられる方は限られているのですが、そういう人も引き付けられる力があつたらなあと思います。呼ばれれば、どこへでも行きます。被災地の笑顔を増やしたいというご要望があれば。

びり（クラウン）



東北3県の学校をたくさんまわって演奏してきました。自治体ごと避難して工場跡地の仮校舎にいる学校などもあって、毎日の通学も大変な状況で、お見舞いの言葉も下手にかけられない。いろんなところで演奏を続けて、音楽を聴いて涙を流したり、楽しい表情を見せたりする人たちを見て、もう、被災地だからと考えるのはやめよう、と思うことになりました。音楽を届ける、音楽の素晴らしさを味わってもらう—それだけです。自宅は津波の被害は受けなかったですが、テレビの映像などで見るのとは違う、津波の被害を受けた地域の光景を目の当たりにして、こうして音楽活動を続けていくことへの覚悟と、音楽ができることへの感謝の念が強まったという気がします。

叶光徳（クラリネット奏者・仙台市在住）

ひとりでも多くの人に笑顔になってほしいから

協力をお願いしました。本プロジェクトで各地を訪れた実演家の声を一部ご紹介いたします。

避難所や仮設住宅めぐりは、数えきれないくらい行っています。震災直後の4月に初めて山元町に行ったとき、みなさん冷たい味気ないものしか食べてないというので、お茶と漬物と甘納豆とコーヒーを持っていったんです。東北のおばちゃんは「お茶っこ」が好きだから。そうしたらすごく喜ばれて、お茶飲みながら普段着のお付き合いができた。「タレントさんが来たら、喜んでい顔しなきゃいけないけど、本当はつらいんだ」とか「落ち着きましたかって言われても、家族や家を失くしたことは、一生変わらない。落ち着けるはずない」って。東北の人は、みんな不満は言わない。でも本当はつらいの。復興は、私たちが生きていうちには完了しないでしょう。だから、また来たよと言える方がいいから、東北の人間として、一生つきあっていかなきゃならないと思っています。



六華亭遊花(落語家・名取市在住)

震災後4か月め、津波で何もかもなくなった被災地をとって、初めて避難所に演奏にいったときは、被災した方々はショックが大きすぎて、芸能をうけとめることもできなかったんじゃないかと思いました。食事ができれば身体は生きています。でも心が死んでいるというか……。そういう時「がんばれ」なんて言葉をかけるのは憚られます。何も言えない。三味線を弾くって、「生きる力」そのものだと思います。その力を受け取って欲しい。それだけです。震災後、年月が経つにつれて、仮設住宅などをまわっていても、みなさんの表情が変わってきました。一緒に唄を口ずさんだり、心を動かしたり、そういうのって、生きる力なんだと思うから、心に響くようになって、津軽三味線を弾いています。



えり奈(津軽三味線・青森市在住)

震災後1年ほど、マジックショーの仕事はこなかったです。そんな折、芸団協から被災地訪問のお話をいただいて、仮設住宅の集会所などでマジックを見せました。私のマジックは驚きではなく笑ってもらうマジックです。哀しみながらも、つい笑ってしまうお客さんの姿を見て、訪問してよかったと思いました。あるおばさんから「津波で全部流されたけど、震災でひとつだけいいことがあった。あんたのマジックを見れたことだ」と話しかけられて、涙がこぼれました。苦しんでいるんだけど、希望を見出したい、と思っている姿がそこにありました。震災から2年たっても、被災地には住宅も学校も、仕事もない。復興が進んでいない。その状況を見るにつけても「一時的でもいいから楽しんでもらいたい」と思うんですよね。



ブラボ-中谷(マジック・仙北郡在住)

芸団協・震災復興プロジェクトの記録 (2012年度)

岩手県

■一関市大東町「長泉寺 み魂まつり」

地域のお祭りに協力し、芸能鑑賞機会を提供した。

日時：8月13日(月) 会場：長泉寺

出演：瞳ナナ(マジック)、林家花(紙切り)

参加者：約500名

主催：亀峯山長泉寺

協力：一関商工会議所大東支所青年部、
上大原下自治区有志

■宮古市「KYOKO 日本手品マジックショウ」*

地域の助け合い活動を行うNPOとの協働で、地域住民を対象とする芸能鑑賞機会を提供した。

日時：10月9日(火) 会場：ふれあい館

出演：KYOKO、ドルフィン(マジック)

参加者：計60名(2回実施)

主催：ふれあいステーション・あい

共催：(公社)日本芸能実演家団体協議会

■葛巻町「城下子(ジョーカーズ)寄席」

地域の団体が主催する文化事業に協力した。

日時：11月9日(金)

会場：葛巻町総合センターホール

出演：桂文治、桂米助、桂小文治、柳家小幡、
三遊亭くま八(落語)、林家花(紙切り)

参加者：約250名

主催：城下子寄席実行委員会

後援：葛巻町、葛巻町教育委員会

■一戸町「萬代寄席」

地域の団体が企画する文化事業に協力した。

日時：11月10日(土) 会場：萬代館

出演：桂文治、桂米助、桂小文治、柳家小幡、
三遊亭くま八(落語)、林家花(紙切り)

参加者：昼夜計300名

主催：映画館「萬代館」利活用事業実行委員会

共催：一岩会

協力：一戸町、一戸町観光協会



■釜石市「かまいしお茶っこ寄席」*

震災復興支援を行う地元NPO団体との協働により、仮設住宅及び地域の集会場、公民館などで芸能鑑賞、交流の機会を提供した。

11月8日(木) 小白浜仮設住宅、
平田総合公園仮設住宅

11月9日(金) 旧商業第2体育館
ございしょの里

出演：ブラボー中谷(マジック)、ストロングスタイル(漫才)

11月14日(水) 田郷A・B仮設住宅
栗林仮設住宅

11月15日(木) 甲子第6仮設住宅
甲子第2仮設住宅

出演：びり&ブッチィー(クラウン)、ジン・マサフスキー(マジック)

11月30日(金) 大槌・和野っこハウス
大槌第7・6仮設住宅

12月1日(土) 尾崎町集会場
東町集会場
甲子公民館

出演：六華亭遊花(落語)、えり奈(津軽三味線)

参加者：13回 計300名

主催：アットマークリアスNPOサポートセンター

協力：(公社)日本芸能実演家団体協議会

■宮古市「みやこ寄席」*

宮古市が実施する震災復興祈念の文化事業に協力した。

日時：3月9日(土)

会場：宮古市立宮古小学校体育館

出演：笑福亭鶴光、三遊亭遊吉、六華亭遊花、
桂竹のこ(落語)、えり奈(津軽三味線)

参加者：約300名

主催：宮古市、宮古市教育委員会

(公社)日本芸能実演家団体協議会

■釜石市「落語と津軽三味線演芸会」*

市が実施する震災復興祈念事業に協働して取り組んだ。

日時：3月10日(日) 13:30~16:00

会場：唐丹公民館

出演：三遊亭遊吉、六華亭遊花(落語)、えり奈
(津軽三味線)

参加者：40名

主催：釜石市・釜石市教育委員会

共催：唐丹公民館

■宮古市「復興みやこ・歌と踊りのひととき」*

地元の文化団体との協働で文化事業を開催した。

日時：3月23日(土)13:30~16:00

会場：陸中ビル

出演：田辺靖雄、九重佑三子(歌手)、地元バンド、新舞踊、三味線

参加者：約300名

主催：宮古市芸術文化協会

共催：(公社)日本芸能実演家団体協議会

後援：宮古市、宮古市教育委員会、宮古市社会福祉協議会

宮城県

■松島町「松島流灯会 海の盆」*

震災後に地域住民が主体となって立ち上げたお祭の前夜祭に協力し、芸能鑑賞機会を提供した。

日時：8月14日(火) 会場：松島海岸中央広場

出演：林家花(紙切り)、鏡味味千代(太神楽)

参加者：実演鑑賞者約250名

主催：松島流灯会 海の盆 実行委員会、
(社)松島観光協会

共催：松島町、瑞巖寺、利府松島商工会

後援：(公社)宮城県観光連盟、松島町教育委員会、
仙台農業協同組合、宮城県漁業協同組合
松島支所

■松島町「まつしま芸能ひろば」*

町との共同企画で芸能鑑賞機会を提供した。

日時：9月21日(金)18:30~21:00

会場：松島町中央公民館

出演：弦楽四重奏(音楽)、六華亭遊花(落語)、
高瀬道場(殺陣)、三遊亭遊雀(落語)、ドルフ
ィンマジックカンパニー(マジック)

参加者：約300名

主催：松島町

共催：(公社)日本芸能実演家団体協議会

■女川町「のど自慢大会~おらだづ歌自慢!!」*

町との共同企画により地域住民参加型催事の笑顔!の開催に協力した。

日時：11月25日(日)13:30~16:30

会場：女川第二小学校体育館

出演：さとう宗幸・藍美代子・ヨシヒデ(歌)、
女川獅子舞、女川町民(14組)、

司会：渡辺敏之(TBC)、六華亭遊花(落語)

参加者：約400名

主催：女川町、女川町教育委員会

共催：(公社)日本芸能実演家団体協議会

協力：LLPコムワーク・プロジェクト、(公社)
落語芸術協会 仙台事務所、女川町商工会、
専門学校デジタルアーツ仙台

後援：みやぎ生協、アサヒビール・アサヒ飲料

■気仙沼市「笑顔!宅配便」

復興支援NPOと協働し、市内の小中学校で、芸能鑑賞・体験機会を提供した。

9月5日(水) 市立津谷小学校、中井小学校

出演：桂枝太郎(落語)、鏡味味千代(太神楽)

11月30日(金) 九条小学校

12月1日(土) 面瀬地域ふれあいセンター

出演：三遊亭金也(落語)、古今亭ちよりん(落語)

2013年1月20日(日) 階上中学校住宅集会所

1月21日(月) 気仙沼中学校

出演：桂歌若(落語)、マジックジェミー(マジック)

1月27日(日) 岩松中学校住宅集会場

1月28日(月) 階上中学校

出演：春風亭 柳朝(落語)、アサダ二世(マジック)

2月3日(日) 大島開発総合センター

2月4日(月) 鹿折小学校、松岩小学校

出演：桂幸丸(落語)、北見翼(マジック)

参加者：11回 計2000名

主催：NPO 法人文化遺産保存のための映像記録協会、(公社)日本芸能実演家団体協議会

協力：(公社)落語芸術協会、(一般社)落語協会 気仙沼市教育委員会

■仙台市「仙台魅知国絆寄席」

地元財団主催の復興支援プログラムに協力した。

9月5日(水) 10:30 若松市民センター

出演：三遊亭とん馬、六華亭遊花(落語)、林家花(紙切り)

11月2日(金)17:00 荒町市民センター

出演：桂小文治、六華亭遊花(落語)、鏡味味千代(太神楽)

12月9日(日)13:30~15:30 東中田市民センター

出演：三遊亭春馬、六華亭遊花(落語)、マジックジェミー(マジック)

参加者：3回 計約500名

主催：(公財)仙台ひと・町交流財団

■女川町「おながわお茶っこ寄席」*

町との協働により仮設住宅訪問プログラムの実施に協力した。

日時：2月16日(土)

会場：女川第一小学校仮設住宅集会場

きぼうの鐘商店街ワークリンク事務所

出演：六華亭遊花(落語)

参加者：15名、10名

主催：(公社)日本芸能実演家団体協議会



気仙沼「笑顔!宅配便」

福島県

■南相馬市「南相馬・復興秋祭り」

復興支援NPO等との協働により地域のお祭りで芸能鑑賞機会を提供した。

日時：10月27日(土)

会場：鹿島・男山八幡神社境内

出演：TOTTA(クラウン)、KYOKO(マジック)、ぴろき(漫談)

参加者：約500名

協力：男山八幡神社、(公社)日本芸能実演家団体協議会、(公社)シャンティ国際ボランティア会、王滝グループ(株)、曹洞宗長野県第一宗務所青年会、なごみ会(信州・上田市)、復興支援団体「しきだん会」、支援部隊みらい(信州・松本市)

■いわき市「小名浜復興寄席」

小名浜まちづくり市民会議(*文化協定締結)に協力して、観光復興及び地域住民への芸能鑑賞機会提供を目的とする催事の実施に協力した。

会場：小名浜美食ホテル、いわき ら・ら・ミュージウ

7月21日(土)

出演：昔昔亭慎太郎(落語)、笑福亭和光(落語)

8月11日(土)

出演：春風亭柳太郎(落語)、ドルフィンマジックカンパニー(マジック)

9月8日(土)

出演：三遊亭遊之介(落語)、ジン・マサフスキー&クラウン・ブッチィー(マジックとクラウン)

10月13日(土)

出演：桂文月(落語)、ジン・マサフスキー&クラウンSAKU(マジックとクラウン)

11月10日(土)

出演：三遊亭遊喜(落語)、日本サロンコンサート協会(クラシック)

⑥12月8日(土)

出演：桂歌若(落語)、ドルフィンマジックカンパニー(マジック)

⑦1月12日(土)

出演：三遊亭遊吉(落語)、鏡味正二郎(太神楽)

⑧2月9日(土)

出演：桂米福(落語)、青い卵(クラウン&オペラ)

⑨3月9日(土)

出演：瀧川鯉太(落語)、ブライトー矢(マジック)

参加者：18公演計630名

主催：小名浜まちづくり市民会議

協力：小名浜美食ホテル、いわき ら・ら・ミュージウ、(公社)日本芸能実演家団体協議会

*印は文化協定を結んだ地域での事業

芸団協正会員団体等が実施、協力する事業への支援事業 (2012年度)

●日本音楽家ユニオン 「スマイル・プロジェクト」(被災地の小学校32校をクラシック音楽の実演家が訪問するプログラム)の実施に協力した。

岩手県

8月27日(日) 久慈市立夏井小、小久慈小、

8月28日(月) 山田町立荒川小

10月19日(金) 宮古市立亀岳小、鯨ヶ崎小宮城小

10月24日(水) 丸森町立館矢間小・小斎小

10月25日(木) 石巻市立大須小、塩釜市立杉の入小

10月26日(金) 松島町立第五小学校

10月29日(月) 気仙沼市立唐桑小

10月30日(火) 気仙沼市立小原木小、月立小

11月16日(金) 東松島市立小野小

11月27日(土) 南三陸町立入谷小、気仙沼市立大谷小

11月29日(月) 塩釜市立第三小

11月30日(火) 七ヶ浜町立亦楽小

福島県

10月29日(月) いわき市立長倉小、好間第一小

10月30日(火) いわき市立錦東小

11月7日(水) 富岡小学校*田村市の避難先

11月8日(木) いわき市立川部小、平第六小

11月9日(金) いわき市立大浦小

11月20日(火) いわき市立勿来第二小

11月21日(水) いわき市立渡辺小、白水小、

11月22日(木) いわき市立勿来第一小、久ノ浜第二小、相馬市立飯豊小

11月30日(金) 相馬市立桜ヶ丘小学校



日本音楽家ユニオンによるスマイル・プロジェクト

●福島県いわき市「好間笑顔の夏祭り」への協力復興支援団体が主催する、地域のお祭りにおいて芸能鑑賞機会を提供した。

日時：7月26日(木)10:00～17:00

会場：上好間団地集会場

出演：びり&ブッチィー(クラウン) ジン・マサフスキー(マジック)

参加者：150名



東松島復興夏祭り

●「子どもと舞台芸術出合いのフォーラム」の一環として、福島を拠点とする子どもたちのダンスチームの招へいに協力し、特別公演『ふくしまキッズ』(エクスペディションD.S)公演を実現した。

日時：7月27日(金)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・代々木)

参加者：300名

主催：子どもと舞台芸術出合いのフォーラム実行委員会

●宮城県東松島市 地域住民が主体となって実施した「東松島復興夏祭り」に協力し、芸能鑑賞機会を提供した。

日時：8月5日(日)

会場：グリーンタウン第2仮設住宅

出演：びり&ブッチィー(クラウン)

参加者：150名

主催：児童養護施設支援の会/地元の有志

●沖縄県沖縄市 国際演劇フェスティバル「キジムナーフェスタ 2012」における文化芸術による震災復興活動紹介展示に協力し、日本の文化芸術による復興支援活動の内容を紹介した

日時：7月28日(土)～8月5日(日)

会場：ショッピングモールコリンザ他

主催：沖縄市/エーシーオー沖縄/NPO 法人 ITF 沖縄他

●新宿区「新宿でつながろう！東北」への協力

日時：8月11日(土)

会場：芸能花伝舎

招へい団体：城山虎舞(岩手県大槌町)

主催：日本演出者協会

後援：淀橋町会、新宿区

●仙台市「復興支援公演事業」への協力

地元の児童館等からの要請に応え、親子向けの芸能鑑賞機会を提供した。

2月20日(水) 会場：榴岡児童館

出演：かさいなおき(手まわしオルガン)

2月20日(水) 会場：新田児童館

出演：岡田健太郎(ピアノ弾き語り)

3月2日(土) 放課後ケアネットワーク仙台

出演：びり&ブッチィー(クラウン)

参加者：3回計約300人

主催：特定非営利活動法人日本青少年音楽芸能協会

●新宿区「東日本大震災子ども舞台芸術支援のためのチャリティー公演」への協力

東京において開催した復興支援催事に被災地の民俗芸能団体を招へいた。

日時：3月19日(火)、(水)

会場：全労済ホール・スペースゼロ

招へい団体：民族歌舞団ほうねん座(宮城県)

主催：子どものための舞台芸術創造団体の会

■2012年度の震災復興プロジェクトは、下記の委員による検討をもとに会員団体等の協力を得ながら実施されました。

常務理事	田澤 祐一	(公益社団法人落語芸術協会)
部会長	加藤 明彦	(公益社団法人日本奇術協会)
	大森 ちづえ	(特定非営利活動法人日本青少年音楽芸能協会)
	金井 文幸	(一般社団法人日本音楽制作者連盟)
	土屋 学	(日本音楽家ユニオン)
	長谷 詔夫	(日本児童・青少年演劇劇団協同組合)
	和田 喜夫	(日本演出者協会)

■2011、2012年度の2年間にわたって、本プロジェクトは一般社団法人私的録画補償金管理協会からの助成を得て実施することができました。関係各位に心より御礼申し上げます。

芸団協・震災復興プロジェクトの記録 (2011年度)

2011年度は、震災直後から芸術関係者に呼びかけ、芸団協傘下の有志によるプロジェクトを立ち上げました。文化芸術を通して、仙台や釜石の祭りの復活に協力したり、福島県では原発事故の影響で外遊びができない子どもたちに実演芸術を届ける活動などを行いました。また、文化庁が全国公立文化施設協会に委託して実施した「文化芸術による復興支援コンソーシアム構築に係る事業」に協力し、調査研究および復興支援事業を行いました。

宮城県

■仙台七夕まつりプロジェクト(2011年8月6日～8日 5会場、10プログラム 参加した実演家のべ370名、参加者約4,000名)

1. 中村紘子復興応援七夕チャリティコンサート
日時：8月6日(土)
会場：東北大学百周年記念会館川内萩ホール
出演：中村紘子、NHK仙台少年少女合唱隊
共催：社団法人日本クラシック音楽事業協会
2. 仙台フィルハーモニー管弦楽団×ARC>T公演
日時：8月6日(土)、8月7日(日)
会場：おまつり広場(勾当台公園内)
協力：日本オーケストラ連盟
3. 日本歌手協会ステージ
日時：8月7日(日)13:10-14:20
会場：おまつり広場(勾当台公園内)
出演：田辺靖雄、ペギー葉山、原田直之、九重佑三子、藍美代子(仙台出身)、伊達清隆、山中明美
協力：一般社団法人日本歌手協会
4. 仙台七夕チャリティ寄席(落語、紙切り・太神楽、マジック)
日時：8月6日(土)～8日(月)
会場：仙台メディアテーク(6)、フジサキー番町館6F催事場(7、8)
出演：三遊亭遊三、桂伸之介、三遊亭とん馬、川野目亭南天、林家花、今野屋なにかにも、鏡味味千代、マジックレディース、松旭斎天城、ブラボー中谷
協力：公益社団法人落語芸術協会、社団法人日本奇術協会
5. 東日本大震災横難死者諸精霊追悼供養・尺八演奏～鎮魂と祈りを込め～
日時：8月7日(日)
会場：輪王寺、おまつり広場(勾当台公園内)
出演：宮城竹友会、竹友社
協力：公益社団法人日本三曲協会



仙台七夕まつり 上：日本歌手協会ステージ
下：100名余の尺八奏者による演奏

岩手県

- 釜石市 釜石まつりへの実施協力
 1. 集い「民俗芸能の復興を地域の力に！」
日時：2011年10月14日(金)
会場：釜石市教育センター会議室
 2. 芸能公演「甦る釜石芸能一大田楽との協演～大地を鎮め、豊穰、豊漁を祈る～」
日時：2011年10月15日(土)
会場：シープラザ遊
- 大船渡市・遠野市 演芸公演の実施
日時：2011年11月27日(日)
会場：大船渡市猪川地区公民館
遠野市雇用促進住宅集会場
- 田野畑村 演芸公演の実施
日時：2012年3月17日(土)
会場：福祉作業所ハックの家、アズビィ楽習センター
出演：桂米福、川野目亭南天、ブラボー中谷
- 宮古市
日時：2012年3月26日(月)
会場：宮古りあす亭
出演：三遊亭遊雀、雷門花助、鏡味味千代



釜石市 虎舞、甦る釜石芸能にて

福島県

■南相馬市

1. 地元NPO団体が主催する「南相馬市の子どもたちを励ますための支援公演」の実施
日時：11月17日（木）（2回公演）
会場：南相馬市文化会館ゆめはっと大ホール
出演：人形劇団ブーク

2. 演劇公演「君がいるから」

日時：11月29日（火）10:30-11:30
会場：福島県南相馬市立鹿島小学校体育館
主催：芸団協震災復興プロジェクト
協力：子どものための舞台創造団体の会（児演協・青音協・全人協・全児協）
出演：CAN青芸

3. PTA及び市内NPO団体からの要請により、小学生、保育園児、一般を対象とする演芸3公演を行った。

日時：2012年1月30日（月）10:00～11:00
会場：南相馬市立鹿島小学校体育館（市内6小学校対象）
日時：2012年1月30日（月）13:00～14:00
会場：つばさ保育園
日時：2012年1月30日（月）18:00～19:00
会場：野馬追銘醸館
出演：川野日亭南天、ブラボー中谷

■いわき市小名浜

7回にわたり会場：いわき・ら・ら・ミュウ、小名浜美食ホテルにて芸能公演を実施。

2012年12月27日（土）
出演：春風亭柳好、昔昔亭健太郎（落語）
2012年1月7日（土）
出演：三笑亭夢花、笑福亭和光（落語）
2012年1月21日（土）
出演：昔昔亭笑海（落語）、ドルフィンマジックカンパニー（奇術）
2012年2月4日（土）
出演：春風亭笑好（落語）、清水万紀夫クラシック・ジャズ・カルテット（音楽）

2012年2月18日（土）

出演：三笑亭朝夢（落語）、齋藤恭太（ヴァイオリン）・塚野淳一（チェロ）・渡邊千晶（ピアノ）

2012年3月3日（土）

出演：三笑亭夢吉（落語）、鏡味初音（太神楽）、ドルフィンマジックカンパニー（奇術）

2012年3月17日（土）

出演：春風亭べん橋（落語）/YENTOWNFOOLS（クラウン）

東京都

■追悼イベント「復興へ想いを馳せて～追悼、そして新たな1年へ～」を開催。

日時：2012年3月11日（日）

会場：芸能花伝舎

追悼演奏：永田砂知子（パーカッション・波紋）、ブルース・ヒューバナー（尺八）

■東日本大震災復興支援のためのチャリティ公演の実施に協力

日時：2012年3月20日（火）

会場：全労災ホール

出演：風的一座/プレジャーBのショータイム/青い卵/チカパンのパントマイム/中川美保サクソフォンコンサート/民俗歌舞団荒馬座/エクスペッションDS（いわき市の子どもたち80名によるダンスパフォーマンス）

主催：子どものための舞台芸術創造団体の会/全労災

●このほか、公益財団法人ロームミュージック・ファンデーションが助成する被災地支援コンサートのコーディネートを行い、岩手県遠野市、大槌町、大船渡市、宮城県仙南でのコンサートに協力しました。

■芸団協では2011年度より「震災復興に文化芸術を基金」を設置し寄付を募っています。2012年度末までに下記の方々からご寄付をいただき、また、5月5日に芸能花伝舎で開催した「芸術体験ひろば」のチャリティバザーの売り上げや、各種イベントでの募金も基金にいかせいただきました。寄附総額は3月末で5,261,869円に達し、震災プロジェクト事業費に充当いたしました。ご支援くださった皆様方に深く感謝申し上げます。（敬称略）

株式会社エス・シー・アライアンス

協同組合日本俳優連合

一般社団法人日本ジャズダンス芸術協会

公益財団法人 君津市文化振興財団

韓国音楽実演家連合会(FKMP)

フランス実演家権利管理協会(ADAMI)

公益社団法人 日本奇術協会

公益財団法人日本伝統文化振興財団

棚野正士

舟木淳語りの会

ポーランド実演家組合(STOART)

ギリシャ音楽家権利管理協会(APOLLON)ほか

芸団協とは

俳優、歌手、演奏家、舞踊家、演芸家、演出家、舞台監督などのあらゆる芸能分野の実演家団体、スタッフや制作者等芸能関係 68 団体（傘下の実演家等は約 90,000 人）を正会員とする公益法人です。芸術文化の発展に寄与することを目的に 1965 年（昭和 40 年）に設立され、2012 年（平成 24 年）に公益社団法人の認定を受けました。実演家の著作隣接権に関わる業務を行う「実演家著作隣接権センター（C P R A）」の運営、芸能文化の拠点「芸能花伝舎」の運営、芸能に関するさまざまな調査研究、政策提言、情報収集・発信など実演芸術の振興を主な事業の柱としています。会長は野村萬（能楽師）。

<震災復興に文化芸術を基金>は、下記口座でご寄付を受け付けております。

みずほ銀行 支店名：新宿新都心支店（209） 普通 口座番号：1494755
口座名義：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 震災復興に文化芸術を基金
フリガナ：シヤ）ニホンゲイノウジツエンカダンタイキヨウギカイ
シンサイフツコウニブンカゲイジユツオキキン

公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会[芸団協]

■東京オペラシティ事業所 実演家著作隣接権センター

〒163-1466 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー11F

Tel:03-5353-6600 Fax:03-5353-6614

WEB サイト <http://www.geidankyo.or.jp> Eメール pr@geidankyo.or.jp

■芸能花伝舎事業所

〒163-1466 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎2F

Tel:03-5909-3060 Fax:03-5909-3061

WEB サイト <http://www.geidankyo.or.jp/12kaden/>